

## 令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立花畑小学校 校長 小林 浩二

## 1 学校教育目標

- ・かしこい子（めあてをもち、すすんで学習する子）
- ・やさしい子（自分と周りの人を大切にする子）
- ・元気な子（運動を好み、楽しむ子）

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情を育み学習の基盤となる言語能力を向上させる。
- ②多様な資料から情報を収集し、目的に応じた情報を選択して問題解決する能力を伸ばす。
- ③本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④学校図書館と校内の図書に関わる環境を整え、児童が読書をしたり本を活用したりする意欲を高める。

## 3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 9,903冊（蔵書基準冊数 8,760冊） 蔵書率 113.0%（前年度 104.8%）									
	② 新規購入図書 598冊 / 廃棄図書 189冊 / 増減冊数 409冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学8類
蔵書構成割合	2.3%	1.1%	8.3%	7.5%	12.1%	3.2%	2.2%	5.9%	1.9%	55.5%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、雨の日の中休み、読書旬間（11月）の昼休み・中休み（前年度からの変更 なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊 23.8冊（前年度：22.1冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 53.8%（前年度：50.6%）									
（令和4年度末）										
蔵書状況	① 蔵書数 10,286冊（蔵書基準冊数 8,760冊） / 蔵書率 117.4%									
	② 新規購入図書 503冊 / 廃棄図書 177冊 / 増減冊数 326冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6%	1.1%	8.1%	8.0%	12.7%	3.1%	2.2%	5.7%	1.9%	54.5%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、雨の日の中休み、図書支援員がいる日の中休み・昼休み									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 20.6冊（前々年度：23.8冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 47.8%（前年度 53.8%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館を使う授業により、本を手にする機会を増やす。 ②学校図書館の本や学級文庫の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。		①各クラス月2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②年間一人当たり20冊以上の本を読む。 ③全クラスで学校図書館オリエンテーションを行う。
目標達成状況		
①2クラスともに月4回程度、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。 ②年間20冊以上の本を読んだ児童は、全体の96.6%だった。 ③2クラスともに学校図書館利用に関するオリエンテーションを行うことができた。		

<b>第2学年</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書をしようとする意欲を育てる。</li> <li>②学校図書館にある読み物以外の本に触れ、いろいろな情報源があることを知る。</li> <li>③学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。</li> </ul>	
<b>今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の興味のある本を探して、読書をするができる。</li> <li>②興味をもったことについて図鑑や科学的な読み物を使って調べ、見付けたことを書き抜くことができる。</li> <li>③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</li> <li>②年間一人当たり30冊以上の本を読む。</li> <li>③図鑑等を用いた基礎的な調べる学習の授業を2時間以上行う。</li> </ul>
<b>目標達成状況</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①2クラスともに月2、3回程度、読書等の授業を学校図書館で行うことができた。</li> <li>②年間30冊以上の本を読んだ児童は、全体の46.2%だった。</li> <li>③2クラスともに、基礎的な調べる学習の授業を2時間以上行うことができた。</li> </ul>		
<b>第3学年</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書をしようとする意欲を育てる。</li> <li>②学校図書館にある多様な資料に触れ、資料や情報を活用する力を育てる。</li> <li>③きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を育てる。</li> </ul>	
<b>今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の興味のある本から関心を広げ、それに関連する本についても読書をする意欲を育てる。</li> <li>②辞典や図鑑等で調べて分かったことを、書き抜いたりまとめたりすることができる。</li> <li>③学校図書館の本の分類の仕方を知り、自分が読みたい本を分類から探してすすんで読書をするができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</li> <li>②年間一人当たり30冊以上の本を読む。</li> <li>③教科と関連して辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を4時間以上行う。</li> <li>④全クラスで本の分類に関する授業を行う。</li> </ul>
<b>目標達成状況</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①2クラスともに月2回程度、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。</li> <li>②年間30冊以上の本を読んだ児童は、全体の61.5%だった。</li> <li>③2クラスともに辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を4時間以上行うことができた。</li> <li>④2クラスともに本の分類に関する授業を行うことができた。</li> </ul>		
<b>第4学年</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。</li> <li>②学校図書館にある多様な資料に触れ、資料や情報を収集し活用する力を育てる。</li> <li>③きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を育てる。</li> </ul>	
<b>今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書をするができる。</li> <li>②図鑑や辞典等の資料から課題に合わせて情報を収集し、分かったことを書き抜いたりまとめたりすることができる。</li> <li>③学校図書館の本の分類の仕方やラベルの見方を知り、読みたい本を分類から探したり正しく片付けたりすることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。</li> <li>②年間一人当たり30冊以上の本を読む。</li> <li>③教科と関連して辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を4時間以上行う。</li> <li>④全クラスで本の分類・ラベルの見方に関する授業を行う。</li> </ul>
<b>目標達成状況</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>①2クラスともに、月2回以上学校図書館を利用して授業を行うことは難しかったが、国語科や総合的な学習の時間等で、学校図書館の本を利用して授業を行うことができた。</li> <li>②年間30冊以上の本を読んだ児童は、全体の3.3%だった。</li> <li>③2クラスともに辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を4時間以上行うことができた。</li> <li>④2クラスともに本の分類・ラベルの見方に関する授業を行うことができた。</li> </ul>		

<b>第5学年</b>	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②多様な資料のなかから必要な情報を収集し活用することができるようにする。 ③きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>  ①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書を行うことができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことを、引用したり要約したりしてまとめることができる。 ③日本十進分類法について知り、学校図書館の利用の仕方についてより利用しやすい方法を考えることができる。	<b>達成基準</b>  ①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間一人当たり30冊以上の本を読む。 ③教科と関連して辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を6時間以上行う。 ④全クラスで日本十進分類法についての授業を行う。
<b>目標達成状況</b>	
①2クラスともに、月1回学校図書館を利用して授業を行うことは難しかったが、国語科や総合的な学習の時間等で、学校図書館や区立図書館の本を利用して授業を行うことができた。 ②年間30冊以上の本を読んだ児童は、全体の1.7%だった。 ③2クラスともに辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を6時間以上行うことができた。 ④日本十進分類法についての授業を計画・実施することができなかった。	
<b>第6学年</b>	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②多様な資料のなかから必要な情報を収集し活用することができるようにする。 ③きまりを守り、すすんで学校図書館を利用する態度を育てる。
<b>今年度の成果目標</b>  ①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書を行うことができる。 ②複数の本や新聞等から分かったことを、引用したり要約したりしてまとめ、説明することができる。 ③日本十進分類法について知り、学校図書館の利用の仕方についてより利用しやすい方法を考えることができる。	<b>達成基準</b>  ①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②年間一人当たり30冊以上の本を読む。 ③教科と関連して辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を6時間以上行う。 ④全クラスで日本十進分類法についての授業を行う。
<b>目標達成状況</b>	
①2クラスともに、月1回学校図書館を利用して授業を行うことは難しかったが、国語科や総合的な学習の時間等で、学校図書館や区立図書館の本を借りて授業を行うことができた。 ②年間30冊以上の本を読んだ児童は、全体の11.7%だった。 ③2クラスともに辞典や図鑑等を用いた調べる学習の授業を6時間以上行うことができた。 ④日本十進分類法についての授業を計画・実施することができなかった。	

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p><b>【蔵書・配架等に関すること】</b></p> <p>①既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を前期中に完了させる。</p> <p>②校内で選書委員会を設置し、各学年の学習計画を念頭に置いた新規図書購入計画を作成する。</p>	<p>①図書の受け入れ、登録作業のほとんどを前期中に完了させることができた。</p> <p>②各学年の学習計画を考慮したり意見を聞いたりしながら新規購入図書の選書を進めることができた。</p>
<p><b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b></p> <p>①学校図書館オリエンテーションを図書館の利用の仕方にする授業等を、支援員と連携・協働して計画的に実施する。</p> <p>②授業に必要な教材や資料について、積極的に支援員への相談や情報交換を行う。</p> <p>③児童や教職員の学校図書館の利活用を促進するために、支援員と協働して蔵書や調べる学習に関する情報等を発信する「図書だより」を年2回以上発行する。</p>	<p>①各学年の発達段階に応じた図書館利用に関する授業を行うことができた。</p> <p>②「資料収集シート」を作成し教員に周知することで、教員からの資料収集依頼が増え、図書を授業で利用してもらう機会が増えた。</p> <p>③「図書だより」を6月と11月に発行し、おすすめの図書や調べる学習に関する情報を発信することができた。</p>
<p><b>【その他】</b></p> <p>①支援員がいる曜日や読書旬間（6月・11月）の中休み・昼休みに学校図書館を開放し、どの学年の児童も本の貸出・返却をすることができるようにする。</p>	<p>①支援員がいる月曜と木曜の中休み・昼休みに学校図書館を開館し、児童に利用してもらうことができた。</p>

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

今年度は感染症予防の対策を取りながらも、読み聞かせ・図書館整備のボランティアや学校図書館支援員の活動を昨年度よりも活発に行うことができた。特に読み聞かせボランティアには月曜の朝読書の時間に各教室で、学校図書館支援員には昼の放送で絵本の読み聞かせをして頂くことで、児童が本に触れる機会を増やすことができた。また、11月の読書旬間に図書委員会の児童が企画をし、「図書館暗号ゲーム」や「好きな本アンケート」などの新しい取り組みを行った。その結果6月の読書旬間と比較し、11月は貸出冊数を100冊ほど伸ばすことができた。来年度も児童主体で図書館利用を促す取り組みを行いたい。

1か月に2冊以上本を読む児童の割合は47.8%と、前年度よりも6%下がった。今年度は数年ぶりに学校行事をほとんど予定通りに行うことができたが、行事が立て込んだりそれに向けての準備等が忙しくなったりして、高学年を中心に授業で学校図書館を利用する時間が前年度よりも少なくなった。年間の読書冊数目標の達成率を見ても、高学年が低くなっている。高学年になると学習内容や行事での役割等が増え、なかなか学校図書館に行き授業をすることが難しい現状がある。そのため、学習内容に応じて学校図書館の本を教室に貸し出したり休み時間等に学校図書館を開館したりして、授業で利用しにくい学年が学校図書館を利用しやすくなるように運営方法を工夫したい。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

・読み聞かせボランティアに毎週月曜に活動してもらうことができた。多くのクラスで読み聞かせをしてもらい、児童はもちろん教員からも好評だった。

・教科書で教材として取り扱っている本や、紹介されている本を学校図書館においてほしいという要望が各学年からあった。

→来年度は、各学年から要望のあった本をワゴンに収集し、各学年の廊下に設置して授業で活用してもらうようにする。また、教科書に載っている本も参考にして来年度の新規購入図書を計画する。

・中休みや昼休みにも学校図書館を利用できるようにしてほしいという要望が、高学年の児童や教員からあった。

→今後、学校図書館支援員のいる曜日以外にも、学校図書館を開館できる日を設けることができるように運営方法を検討する。